

表層ガス調査について

概 要

本調査は廃棄物層表層における発生ガスの分布状況を把握するものであり、得られた結果を、過去2回の調査結果と比較することにより処分場の安定化の程度を確認しながら、処分場における支障発生のおそれを検証する。

調査期間

平成22年9月～11月(覆土状態の安定する時期)

調査内容

処分場内の既往調査の30mメッシュ地点(多機能性覆土範囲を除く)を一次調査地点とし、測量して現地に復元する。

(図 - 1 表層ガス調査一次調査地点参照)

その地点を、自走式簡易ボーリングマシンにより掘削し、地温測定、土壌ガス採取、各ガスの現地測定を行う。

(図 - 2 自走式簡易ボーリングマシンによる削孔方法参照)

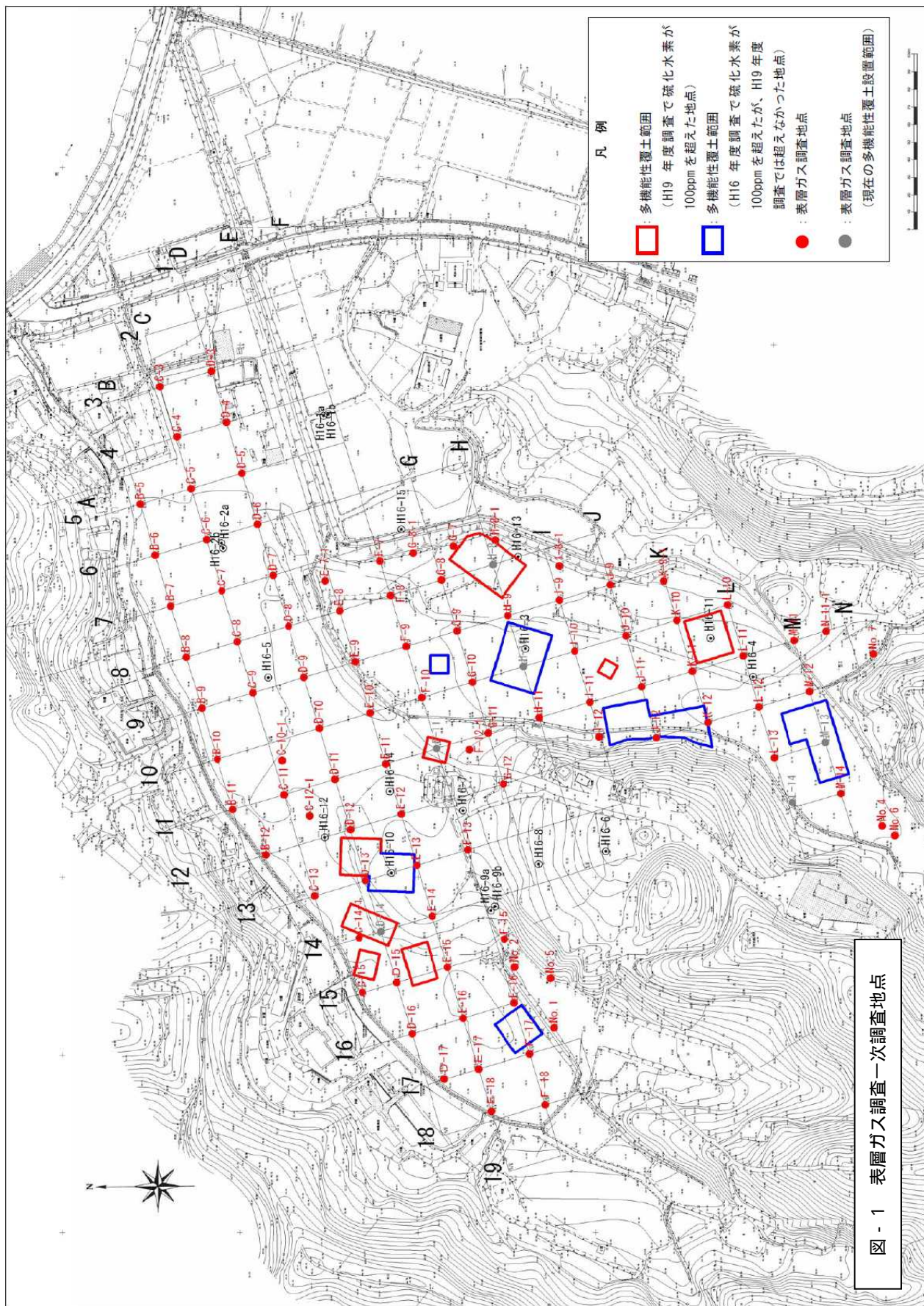
以上により得られたデータを整理し、濃度分布図を作成する。その後、調査結果を検討し、二次調査地点(15mメッシュ)の必要の有無を検討し、必要がある場合は地点を選定する。

二次調査方法は一次調査に準じて行う。

(図 - 3 表層ガス調査のフロー図参照)

報 告

結果について、第10回評価委員会(平成23年度・上期)へ報告する



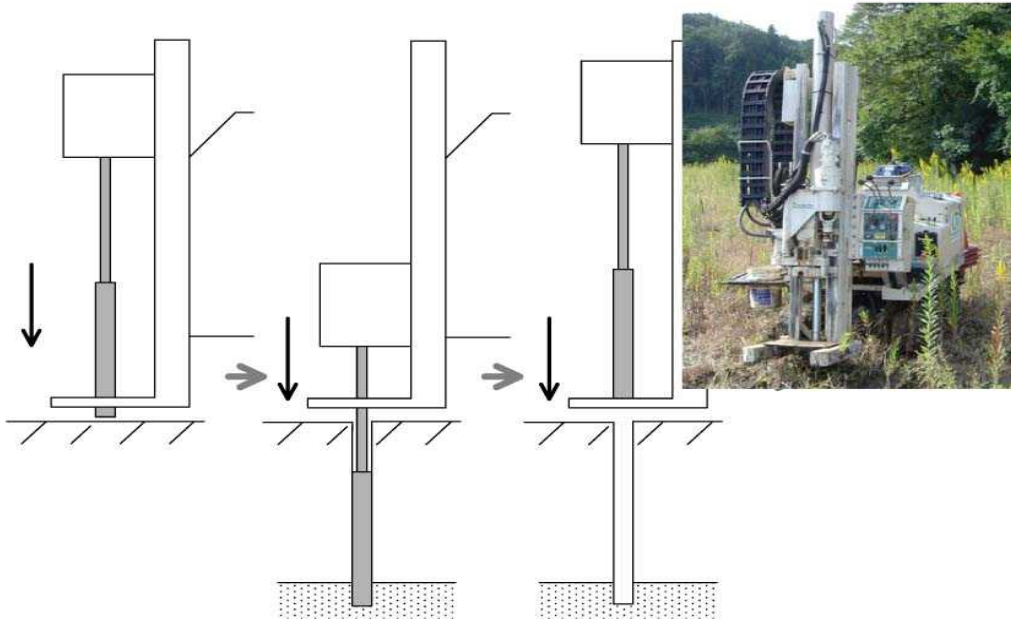


図 - 2 自走式簡易ボーリングマシンによる削孔方法

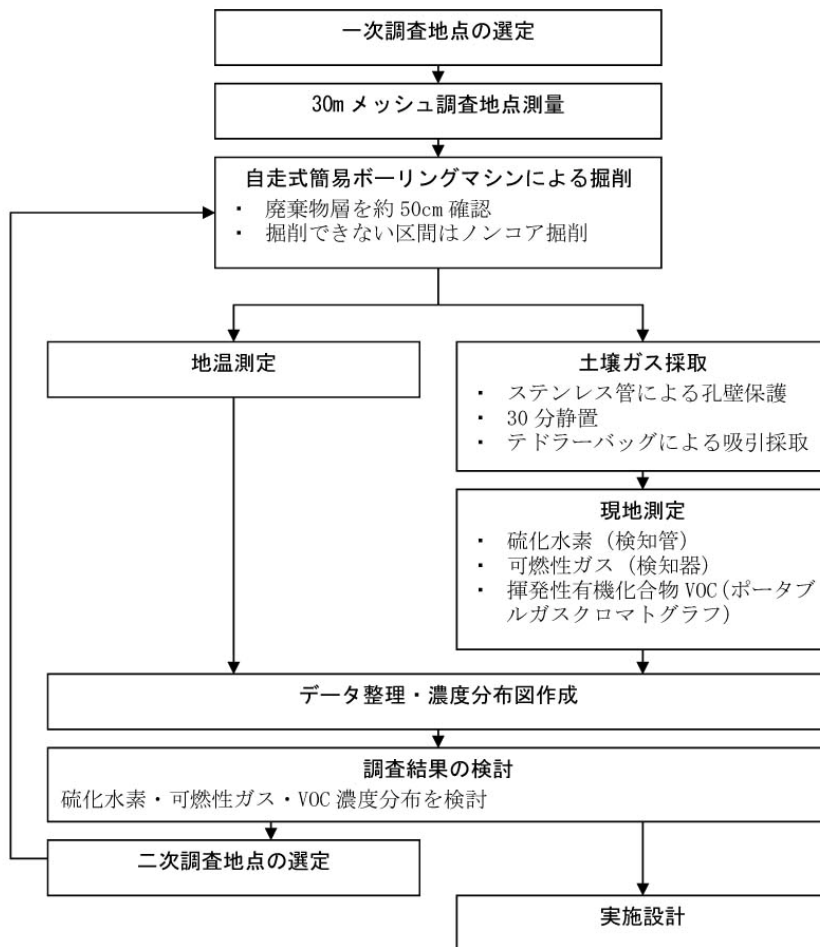


図 - 3 表層ガス調査のフロー